

やまなしけんりつぶんがくかん

山梨県立文学館について

★山梨県立文学館は、山梨ゆかりの作家の資料や作品を収集・保存して展示しています。
 次に挙げる人は山梨にゆかりのある作家で、常設展示室で紹介しています。
 文学館クイズに答えてみましょう。

①樋口一葉（東京都生まれ）小説家 両親が甲州市出身

樋口一葉の肖像画が使われているお札は？ ↓ 【 円札 】

②芥川龍之介（東京都生まれ）小説家 甲府市や北杜市を訪問

芥川龍之介が書いた小説は？

ア 田 イ 鼻 ウ 口 エ 耳

③太宰治（青森県生まれ）小説家 山梨県内に一時在住

太宰治が書いた作品のタイトルは？ ↓ 走れ 【 へカタカナ三文字 】

④飯田龍太（笛吹市境川町生まれ）俳人

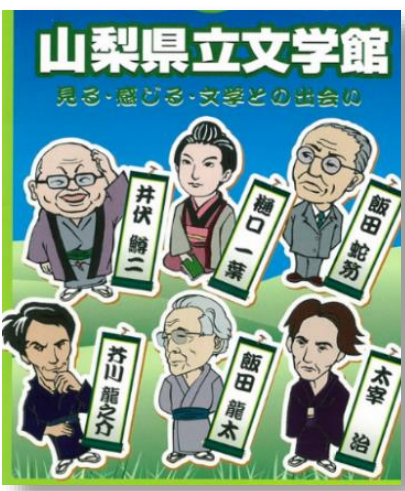
飯田龍太が作った次の俳句の季語と季節は？

この子にも涼しく風の吹く日かな 季語 【 】 季節 【 】

⑤村岡花子（甲府市生まれ）児童文学者

村岡花子が日本で最初に翻訳した作品のタイトルは？ ↓ 赤毛の 【 へカタカナ二文字 】

○クイズの答え ①五千 ②イ ③メロス ④季語↓涼しく 季節↓夏 ⑤ア



※七月十七日（土）から八月二十九日（日）まで夏の特設展「文学の中の富士山」を開催しています。芥川龍之介・太宰治・草野心平などが表現した富士山に関する資料を展示します。

今年の自由研究のテーマは「富士山」で決まそうー

特設展を見て、クイズに参加すると、景品がもらえます！

小・中・高校生は、無料で観覧できます。

みなさんのご来館をお待ちしています。



夏の特設展「文学の中の富士山」に関わる工作紹介 「富士山スノードームをつくろう！」

スノードームは、ピンをひっくり返すとまるで雪が降っているように見える工作です。ラメパウダーがキラキラと舞う様子を水と洗濯のりを混ぜた溶液を利用して作ります。自分が入りたいパーツを用意して、オリジナルスノードームを作ってみましょう！

材料：水、洗濯のり、ふた付きのピン、土台になるスポンジ、中に入れるパーツ（富士山消しゴム・動物や雪だるまの消しゴム・造花など）、

ラメパウダー、グルーガン（ホットボンド）→電源を入れると先端が熱くなるので、使うときは注意！

※動物消しゴム・雪だるま消しゴム・造花・ラメパウダーは、インターネット通販または100円ショップで販売しています。

※富士山消しゴムは、インターネット通販で購入できます。

※グルーガンは、ホームセンター・画材店・手芸店で販売しています。

※洗濯のりは、ドラッグストア・ホームセンター・100円ショップで販売しています。

作り方

- ①高さを出すために、ピンのふたにグルーガンでスポンジを貼る。
- ②ピンのふたに接着したスポンジの上に、パーツ（富士山消しゴムなど）をグルーガンで貼る。
- ③ピンにラメパウダーを入れ、水：洗濯のり=7：3の割合で作った溶液を注ぐ。
- ④ピンの中に空洞ができにくくするために、あらかじめスポンジに水を吸わせておく。
- ⑤スポンジとパーツをつけたフタをしめる。
- ⑥好みでピンのふたにマスキングテープを貼ったりしてもよい。 【完成！】

